



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

令和 4年 4月12日(火)
国土交通省関東地方整備局
利根川水系砂防事務所

記者発表資料

令和4年度 利根川水系砂防事務所 予算の概要

◆直轄火山砂防事業(浅間山)

火山活動を続ける浅間山において、「火山噴火緊急減災対策」の進捗を図ります。

◆直轄砂防事業

川浦床固群(高崎市倉渕町川浦地先)など、本事業の進捗を図ります。

◆直轄火山砂防事業

振子沢砂防堰堤(草津町草津地先)など、本事業の進捗を図ります。

◆直轄地すべり対策事業

地すべり対策事業(藤岡市譲原地先)において、抑制工など、本事業の進捗を図ります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会
刀水クラブ テレビ記者会 渋川記者クラブ
長野県庁会見場 佐久記者クラブ

問い合わせ先

関東地方整備局 利根川水系砂防事務所
住所 : 群馬県渋川市渋川121-1
電話 : 0279-22-4177(代)
副 所 長 : 小 島 宏 一
工務課長 : 野 村 利 幸

令和4年度事業費

(単位:百万円)

予 算 費 目		令和3年度 事業費(当初)	令和3年度 事業費(補正)	令和4年度 事業費(当初)
砂防事業	直轄砂防事業	994	300	997
	直轄火山砂防事業	1,421	473	1,317
	小 計	2,415	773	2,314
直轄地すべり対策事業		350	170	350
直轄火山砂防事業(浅間山)		1,620	283	1,607
合 計		4,385	1,226	4,271

主な事業実施箇所位置図

吾妻川流域



振子沢砂防堰堤

片品川流域



片品上流第二砂防堰堤

浅間山

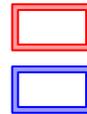
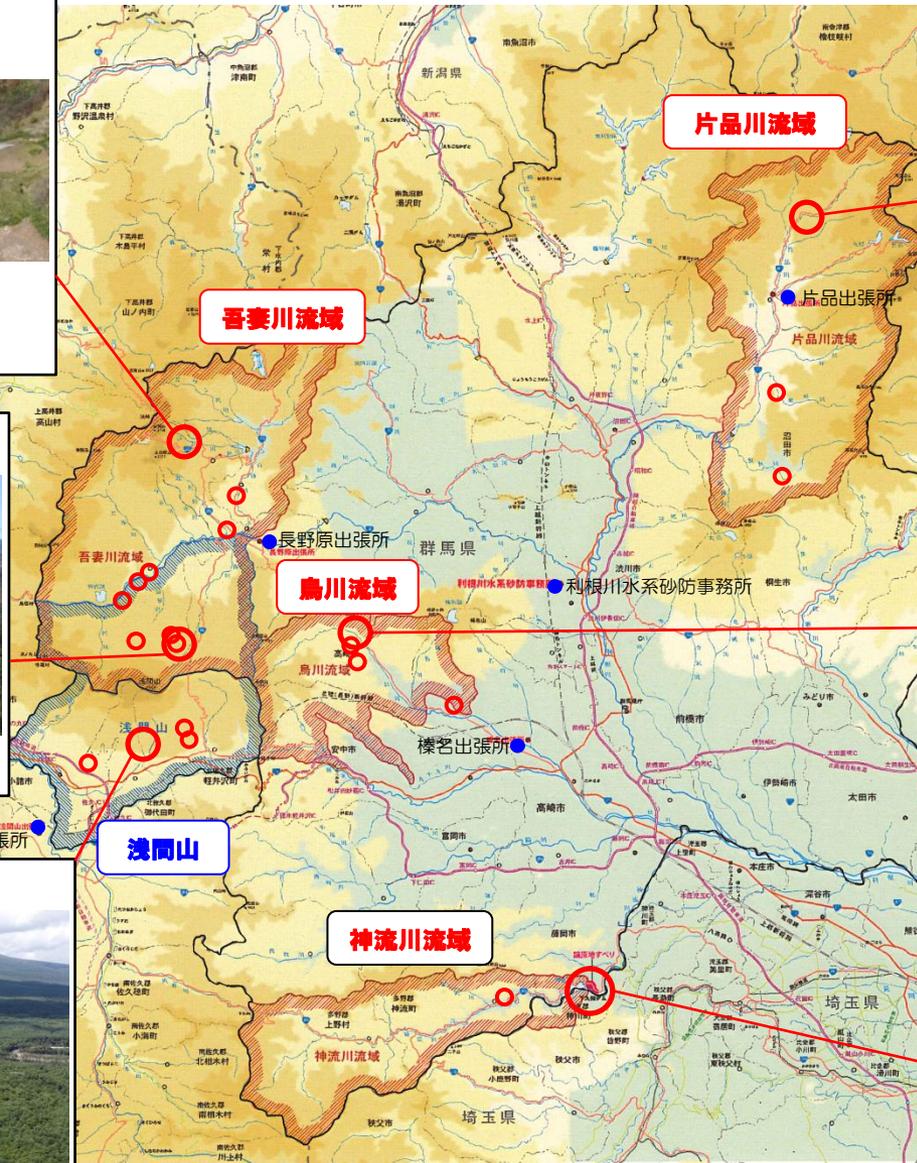


小滝沢砂防堰堤

浅間山



濁川第一砂防堰堤



：事業区域

○：事業箇所

烏川流域



川浦床固群

譲原地すべり



集水井工

1. 事業概要

浅間山は、中規模噴火が20年に一度程度発生しており、国内でも非常に活動的な火山です。

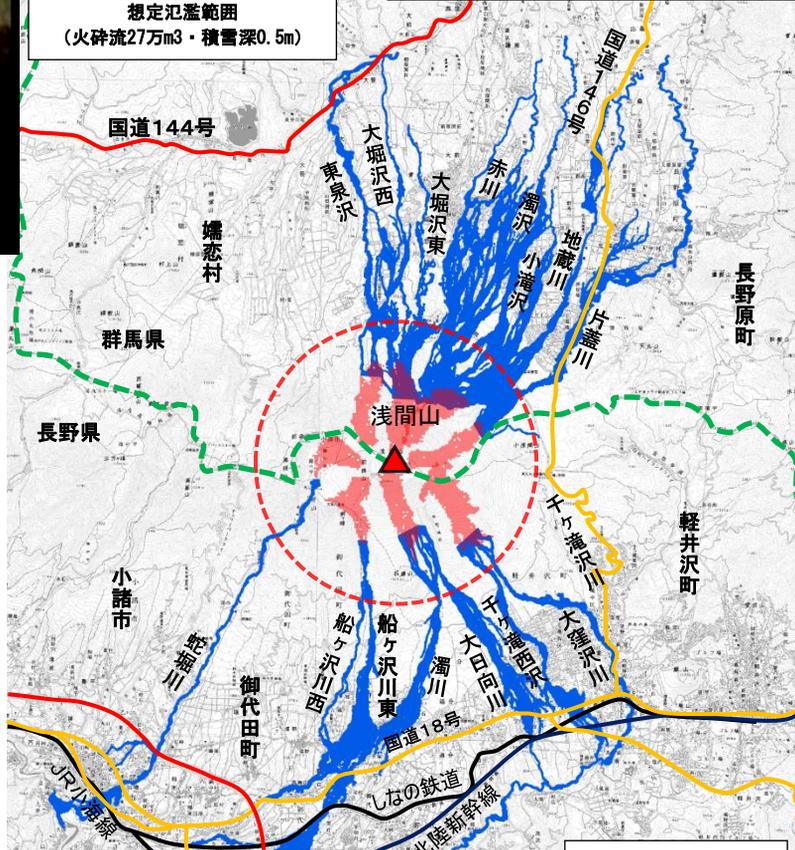
本事業は、火山活動に応じた機動的な対策を行う「火山噴火緊急減災対策」として、噴火に伴い発生が予想される融雪型火山泥流や噴火後の土石流に対し、平常時に基幹的な砂防堰堤を整備するとともに、噴火の前兆現象及び噴火が発生した場合に、緊急時の対策としてコンクリートブロック等を使用した砂防堰堤及び導流堤を整備することにより被害の軽減を図ります。

2. 令和4年度予定

- 群馬県嬭恋村において地蔵川砂防堰堤群、濁沢砂防堰堤群、小滝沢砂防堰堤等の整備を実施する予定です。
- 長野県小諸市において蛇堀川砂防堰堤群、軽井沢町において濁川砂防堰堤群、千ヶ滝西沢砂防堰堤群、大窪沢川砂防堰堤群の整備を実施する予定です。



融雪型火山泥流
 想定氾濫範囲
 (火砕流27m³・積雪深0.5m)



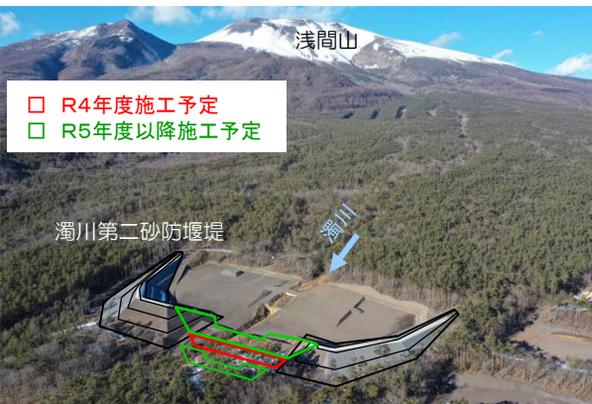
<凡例>
 ● 火口4km圏
 - 火砕流
 - 融雪型火山泥流



平成21年2月の噴火

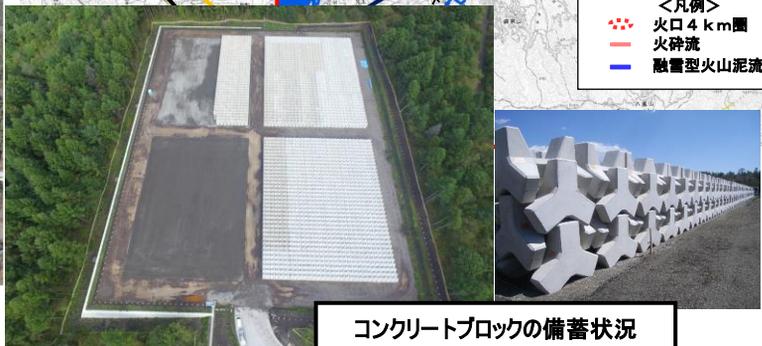


昭和48年2月の噴火により発生した火山泥流



□ R4年度施工予定
 □ R5年度以降施工予定

濁川第二砂防堰堤(施工中)



利根川水系 直轄砂防事業 (川浦床固群)

ぐんまけん たかさし
群馬県高崎市

1. 事業概要

- ・烏川流域は、脆弱な地質であり、過去に発生した豪雨に伴い、多量の不安定土砂が河床に堆積しています。
- ・河床・溪岸を安定させ不安定土砂の二次移動を抑制し、流域内及び下流域の土砂・洪水氾濫の防止を図るため床固群の整備を行います。

2. 令和4年度予定

床固工等の整備を実施する予定です。



川浦床固群周辺の状況

床固群整備状況

1. 事業概要

- ・吾妻川流域は、浅間山、草津白根山の火山噴出物による脆弱な地質と急峻な地形により、上流域からの土砂生産が著しく多量の不安定土砂が堆積しています。
- ・平成30年1月の草津白根山（本白根山）の噴火等により流域内には多くの不安定土砂が存在するため、砂防堰堤の工事を進捗させ、吾妻川流域の土砂災害に対する安全度向上を図るとともに、付近の国道292号線や下流域を土砂災害から保全します。

2. 令和4年度予定

振子沢砂防堰堤の整備を実施する予定です。



位置図



上流の荒廃状況



振子沢砂防堰堤(施工中)

利根川水系 直轄火山砂防事業（片品上流第二砂防堰堤）

ぐんまけん とねぐん かたしなむら
群馬県利根郡片品村

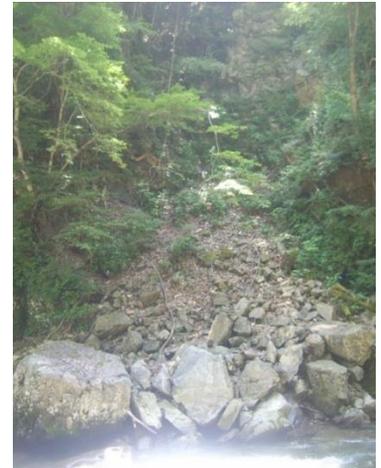
1. 事業概要

- ・片品川流域は、日光白根山の脆弱な火山性地質で覆われており急峻な地形のため、山地崩壊等により荒廃が進行し土砂生産が著しく、河床には多量の不安定土砂が堆積しています。
- ・土砂流出を抑制し、発電施設や交通の要である国道401号線を保全するため、砂防堰堤の整備を行います。

2. 令和4年度予定

片品上流第二砂防堰堤等の整備を実施する予定です。

位置図



上流の崩壊状況



片品上流第二砂防堰堤施工箇所

ゆずりはらちくちよかつじすべりたいさくじぎょう
讓原地区直轄地すべり対策事業

ぐんまけん ふじおかし
群馬県藤岡市

1. 事業概要

讓原地すべりは、昭和37年に地すべり防止区域に指定され、平成3、4年の集中豪雨により滑動が活発化したため、平成7年度から直轄事業として実施しており、面積が100haと大規模であり、下流には首都圏を抱える地すべりです。

地すべり発生最大の誘因である地下水の排除や浸透防止を目的として、集水井工、横ボーリング、排水トンネル等、抑制工を主体とした整備を行います。

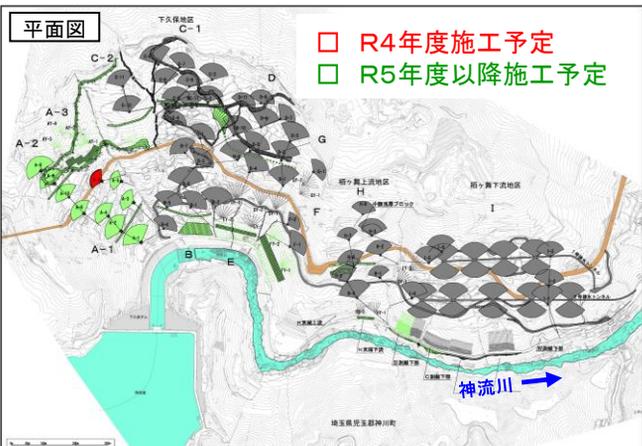
2. 令和4年度予定

地下水位の低下を図る集水井工等の整備を実施する予定です。

しゅうすいせいこう



讓原地すべり全景写真



排水トンネル工
 集水井と接続するほか、トンネル内からボーリングを行い、主に深い層の地下水を排除します。

集水井工
 集水井や排水トンネルに水を集めるため、設け方や横方向にボーリングを行います。

集水井工内部

集水井工内部

アンカー付法枠工
 地すべり土壌の下部面を硬い層に埋め込んだワイヤーで固定します。

深礎工
 地すべり推力が大きく、地すべり圏が深いなどの理由で、普通の杭では対処できない場合に用いられます。

対策事業イメージ